

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	なし
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	演劇	種目	演劇
----	----	----	----

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	A区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	5企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	たいことしばいのたまっこざ		団体ウェブサイトURL
	一般社団法人太鼓と芝居のたまっ子座		http://www.interq.or.jp/drums/tamakko/
代表者職・氏名	代表理事 持永貴子		
制作団体所在地	〒 197-0003	最寄り駅(バス停)	JR青梅線 拝島駅
	東京都福生市熊川1346-2		
電話番号	042-552-0046		
ふりがな 公演団体名	たいことしばいのたまっこざ		団体ウェブサイトURL
	太鼓と芝居のたまっ子座		同上
代表者職・氏名	代表 末永克行		
公演団体所在地	〒 197-0003	最寄り駅(バス停)	JR青梅線 拝島駅
	東京都福生市熊川1346-2		
制作団体 設立年月	2016年 5月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事:持永貴子	代表理事1名 正会員3名 事務局員1名 代表理事の承認を受けた個人又は団体	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	末永桂子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	福本早希

本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	tamakkoza@gmail.com
-------------------------	--

制作団体沿革・ 主な受賞歴	<p><1985年3月>公演団体「太鼓と芝居のたまっ子座」創立・旗揚げ公演実施 以来、本公演・研究公演他、首都圏を中心に保育園、幼稚園、児童館、子ども劇場・おやこ劇場公演等、開始</p> <p><1987年>学校公演、開始</p> <p><1988年>アシテジ世界大会西ドイツ公演招聘。以来、スペイン、フランス、イギリス、ルーマニア、トルコ、USA、カナダ、オーストラリア、シンガポール、韓国等海外公演多数</p> <p><1988、92年>厚生省中央児童福祉審議会推薦授与「こっからまつり」「いちにのドン」児童館巡回</p> <p><2011年>WAM助成による被災地公演、開始</p> <p><2015年6月>文化庁「文化芸術による子供の育成事業」に採択を得、巡回公演、開始</p> <p><2016年5月>一般社団法人として法人設立</p> <p><2017年・18年>台湾・員林／中国・泉州等で和太鼓ワークショップ実施</p> <p><2018年2月>アジアTYAフェスティバルに参加、ドラマチック和太鼓「打」を上演</p> <p><2018・19年6月>中国・杭州国際音楽祭に参加、「大地と海」「忍者狂歡」上演</p> <p><2020>文化庁文化芸術継続/再興支援事業採択 <2021>Arts for the future！採択</p> <p><2022>Arts for the future！2 採択 厚生労働省社会保障審議会推薦授与 児童福祉文化財「どうぶつ忍者学校」/台湾9都市公演ツアー「ドンドン宇宙太鼓」</p> <p><2023>東京都笑顔と学びの体験活動プロジェクト参加</p> <p>★福生市教育委員会表彰受賞 ★全国児童青少年演劇協議会正賞受賞</p> <p>★オラディア国際演劇祭特別審査員賞受賞</p>	
学校等における 公演実績	<p>劇団創立3年目から開始した学校公演(芸術鑑賞教室)は、首都圏を中心に年間約25～50ステージの上演を続けてきました。</p> <p><学校公演> (文化庁巡回公演等の支援事業を除く)</p> <p>令和2年度 計 5公演 太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和3年度 計15公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和4年度 計 4公演 太鼓ライブ「祝祭」</p> <p>令和5年度 計14公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p>令和6年度 計10公演 太鼓ライブ「水の星」／太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」</p> <p><その他></p> <p>幼稚園・保育園公演「太鼓で遊ぼう！」「ドンドンとへそから」他(年間15～20公演)</p> <p>子ども劇場・おやこ劇場公演「太鼓はばびやんこ！」「道草ドンドン」他(年間15～20公演)</p> <p>一般公演／海外公演(年間5～15公演)</p> <p>幼・小・中学校での太鼓指導(ワークショップ)、先生方への講習会 等</p>	
特別支援学校等 における公演実績	<p>学校公演の開始以来、関東地方の特別支援学校、聾学校を中心に、学芸大学附属特別支援学校、都立北特別支援学校、横浜市立若葉台特別支援学校、神奈川県立麻生養護学校、京都府立聾学校、富山県立となみ総合支援学校、都立墨東特別支援学校等で公演。近年では以下の通り。</p> <p>平成31年度 太鼓ライブ「いちにのドン」大分県立中津支援学校、大分県立由布支援学校</p> <p>令和3年度 太鼓ライブ「祝祭」 東京都立田無特別支援学校</p> <p>太鼓ライブ「祝祭」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和4年度 「和太鼓ワークわく」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和5年度 太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>令和6年度 太鼓ライブ「水の星」 東京都立羽村特別支援学校</p> <p>太鼓ライブ「どうぶつ忍者太鼓」 京都府立舞鶴聾学校</p> <p>※特別支援学校等での公演においては、児童・生徒さんの状況や要望を学校ごとにお聞きし、上演時間や上演スタイルなど、個別の対応をしています。</p>	
参考資料の有無	申請する演目のWEB公開資料	有
	※公開資料有の場合URL	https://youtu.be/W003e7F4IVE https://youtu.be/yiQ2rHgMAkE
	※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード	ID: PW:

別添	なし			
公演・ワークショップの内容		【公演団体名 太鼓と芝居のたまっ子座】		
対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	イソップ！民話！音語り…言葉があっても！言葉がなくても？お芝居って面白い！			
企画のねらい	<p>子どもたちは、物語が大好きです。言葉で綴られたものはもちろん、言葉がなくても、動きに、音に、形にも、変化を見逃さず、物語を感じ取り、面白いな、不思議だな、と楽しむ力を持っています。その力が、自らの心を育て、他者と関わり合って生きることの土台を作っていくと考えます。</p> <p>本企画は、イソップ物語や日本の民話など長い年月を語り継がれてきた作品の他、音がおしゃべりしているようなドラマチックな太鼓や民俗楽器のオリジナル作品等、様々な表現様式のお芝居を想像力を膨らませ心の動きを捉えながら楽しみ、自分との共通点や違いを通して人間への興味を深め、人間らしさを培っていくことをねらいとしています。</p>			
演目概要・演目選択理由	<p>本作品は、お芝居、語りの他、たまっ子座の特色である「音色と形や動きだけで描く言葉のないドラマ」等々の演目がテンポよく進行し、登場するのは、のんびり屋の親子や馬、カラスやカエル、働き者の嫁っこ、貧乏神さまなどです。命あるものが互いに関わり合って生きる喜びや、自然を身近に感じ、自然と共に生きる人間にとって大切なことを、子どもたちに分かり易くユーモア溢れる展開の中に描いた演目として選択しました。</p> <p>★ワークショップ並びに共演の作品も、その視点を持つ大事な演目として、当日プログラムの中に位置づけています。</p>			
児童・生徒の参加又は体験の形態	<p>◆事前のワークショップ参加者全員(もしくは選抜者)による共演形式① 「風とカミナリ」…大太鼓・鳴り物を中心としたワークショップの課題曲を、本番プログラムの中でたまっ子座出演者と共に大合奏</p> <p>◆公演当日、客席の希望者から選ばれた数名による共演形式② 「まねっ鼓太鼓」…出演者のリードと伴奏に乗って、リズムの反復で一曲演奏</p> <p>◇観客全員が着席のままの参加形式(対象は全員) 「質問・感想交流」…出演者によるインタビューに答えながら、舞台の感想や体験を言葉で表現し、皆で共有して深める</p> <p>▲体験形式「裏方体験」…ワークショップ・共演①に参加した児童生徒を基本に、事後の交流として実施</p>			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	上欄◆の共演①～70名 共演②～12名	
		鑑賞人数目安	500名程度まで(超える場合は応相談)	
本公演演目	<p>「いちにのドン」 作・脚本・作曲・演出／末永克行 振付／モトム</p> <p>「角笛」 不思議な音色が体育館に響きわたって！幕開き！！ 「アレアレ何かな」 パネルの上に飛び出したのは？音と形の小さなドラマ 「絵本の太鼓」「まわり太鼓」 明るくエネルギーあふれるオープニングメドレー 「馬を売りに行く親子」 他人の言うことに気を取られてばかりいと… <イソップ寓話> 「カエル」 のどかな水辺のハーモニー 集まって来たのは？ 「楽器紹介」 お芝居に登場する日本の太鼓や鳴り物、世界の民族楽器、座のオリジナル楽器などなど</p> <p>◆共演①「風とカミナリ」◆共演②「まねっ鼓太鼓」 「いいあんばいの幸福」 貧乏神と福の神、大みそかの夜に鉢合わせ… <日本の民話> 「牛と樺」 そびえ立つ樹の命と躍動する動物の命を讀んで！ ◇参加「質問・感想交流」 「祝祭」 今日出合った命を華やかに祝う、祭りの太鼓</p> <p style="text-align: right;">公演時間 80 分</p>			
出演者	<p>末永克行 / モトム / 考 / 末永桂子 / 瀧口早紀 / 小林颯斗 / 九万田みさき※ / 丸山田加賜※ / 高橋素子※</p> <p>(※との複数キャスト： ムーラ / 佐藤藤子 / 文 / 幾)</p>			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	<p>末永克行: 1944年2月生まれ。東京音楽大学、劇団俳小等を経て「太鼓と芝居のたまっ子座」を創立。役者及び和太鼓・篠笛奏者の立場から劇作・演出・作曲を続け、「自然と人間」を基本テーマに演劇表現としての創作和太鼓の可能性を模索。他団体の作曲・指導スタッフも務める。</p> <p>モトム: 1984年7月生まれ。7歳で『マドリッド・ラコルーニア第4回国際児童演劇週間』に出演。平成14年度新進芸術家国内研修制度国内研修員。和太鼓演奏に身体的表現、舞踏的表現を独自の感性で盛り込んだダイナミックでユーモアある演技は、「昔タヌキはとんではねた」のタヌキ役はじめ、国内外の小さな子どもから大人まで人気を博す。幼児・小学生や教育関係者に向けた和太鼓指導の他、振付も手掛ける。</p> <p>考: 1987年2月生まれ。幼児期より太鼓に親しみ、93年フランス公演ツアーを皮切りに国内外の舞台に多数出演。和太鼓・篠笛演奏の他、作曲・編曲も手掛け、舞台と客席の境なくリアルタイムに観客の思いに触れ、一体感を創り出す言葉掛けには定評がある。</p>			
本公演従事予定者数(1公演あたり) ※ドライバー等訪問する業者人数含む	<p>出演者: 9 名</p> <p>スタッフ: 2 名</p> <p>合計: 11 名</p>	運搬	<p>※トラック1台とワゴン2台、計3台</p> <p>積載量: 2 t 1 t</p> <p>車長: 5.5 m 4.6 m</p> <p>台数: 1 台 2 台</p>	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	有	前日仕込み所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	8:00	8:00~11:30	13:30~14:50	なし	15:00~16:30	16時30分

※本公演時間の目安は、午後、概ね2時間分程度です。

本公演 実施可能日数目安 ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月
	10日	0日	0日	12日
	10月	11月	12月	1月
	0日	12日	0日	12日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計

●基本舞台全景：体育館ステージ及び持込み舞台（張出し面積：間口9m/奥行4m）



上演時の様子



●基本舞台全景：平土間（専有面積：間口16m/奥行10m）



公演に係るビジュアルイメージ
(舞台の規模や演出がわかる写真)

※採択決定後、図面等の提出をお願いします。



★共演
「風とカミナリ」小学生



★共演
中学生の演技



★共演
「ジャンプドン！」
特別支援学校等

著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合 権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 太鼓と芝居のたまっ子座】

ワークショップのねらい	<p>和太鼓は、日本の伝統芸能としてのみならず、全身を震わせる響きの魅力で楽器としても世界の注目を集めています。太鼓と芝居のたまっ子座は、その響きや音色、リズム、打ち手の姿を通して言葉のないドラマを描くことを目指し、「自然」をテーマとした太鼓曲を多く創作してきました。</p> <p>本ワークショップでは、子どもたちにも身近な『カミナリ』をテーマに、空が曇りはじめ、雷鳴が轟き、雲の上でカミナリ様と小僧たちが大暴れして雨を降らせる様子を、皆で音と動きに創り上げ、「言葉のない全身表現」「ドラマを演ずる面白さ」を体感することをねらいとしています。</p>		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	小学校30～70名 中学校20～40名
ワークショップ実施形態及び内容	<p>たまっ子座の作曲を課題曲として進めていきます。 ※別添 ワークショップ「風とカミナリ」</p> <p>「風とカミナリ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所要時間 95分目安 ・会場 体育館 ・太鼓をはじめ使用する楽器類(鳴り物)、用具は、たまっ子座が持参(太鼓・大小20台程度)。 ・希望する学年全員の参加を基本とし、人数が著しく多い場合はクラス単位等、ご相談に応じます。 <p>●ワークショッププログラムの流れ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) たまっ子座の講師たちの自己紹介を兼ねた太鼓演奏で楽しく幕開き 2) 「一発三発」希望者3名ほどを選んで、先ずは自由に叩いてみようのコーナー 3) 「太鼓体操」太鼓を全身で叩くための準備運動をリズムに乗って 4) 「太鼓の言葉」太鼓のリズムは、楽譜を使わず「口唱歌」で覚えます。短いリズム作りに挑戦。 5) 課題曲のリズムを、少しずつ区切って、口唱歌として声に出しながら太鼓を打ち、全身で覚えていきます。リズムに合わせてジャンプや回転、力こぶといったカミナリの振付を加えていきます。 6) ひと通りのリズムが手に入った頃、講師たちによる演奏を観て、「風とカミナリ」の曲全体のイメージを拓きます。 7) 今回登場する様々な楽器について、歴史や奏法、表現のポイントを紹介 8) 児童生徒の希望に添って、太鼓や銅鑼や鉦、竹ボラ、雨瓢箪等で演奏演技する役、雲旗で走り回る役に分かれ、其々劇団員と共に稽古を進めます。 9) 最後に全員で、黒雲が湧き雷鳴が轟き、稲光や降り出す雨の様子を一つの流れとして想像し、よりドラマチックに表現する為の演出を加えながら、仕上げていきます。 <p>●本番当日</p> <p>ワークショップ参加の児童・生徒の皆さんには、公演本番プログラムの前半、観客としてたまっ子座の演目を楽しんだ後、中盤の共演コーナーで、全員衣装を着け、たまっ子座の出演者と共にワークショップの成果を披露していただきます。(その為のリハーサルを、当日本番前の午前中や昼休みに実施します。舞台条件等によっては出演人数を調整させていただく可能性があり、必ずお電話等での事前打ち合わせを行ないます。)</p> <p>また本番終了後、楽器や小道具、照明等の裏方体験として片付けにも力を発揮してもらい、その後、感想交流の振り返りを行います。ワークショップから本番終了までの心の変化や、演奏した楽器のこと、一緒に演じた友だちの様子、次の目標などなど実感を込めた積極的な発言が多く出され、先生方も驚かれるほどで、全身で体感し表現するワークショップからの一連のまとめと位置づけています。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>●自主練習</p> <p>ワークショップで指導する内容については、後に学校で、または児童・生徒が自主的に復習ができるよう、各パート毎のリズムや動きの見本、新聞紙で作る「マイ撥」の作り方を、<u>限定配信の動画として、URLを配布</u>します。ワークショップに欠席した場合でも、動画による学習と当日リハーサルへの参加で、共演に参加することができます。</p> <p>●特別支援学校等への対応</p> <p>たまっ子座の舞台は、音だけでなく視覚的にも楽しめるよう、お芝居やパントマイムの要素をふんだんに盛り込んだ演出が基本となっていますが、特別支援学校ではワークショップの折にもその特徴を生かし、プログラムに自由体験を盛り込んだり、視覚的要素や聴覚的要素を増やしたり、時間配分の調整や部分的な差し替え、ワークショップの内容変更等先生方のご要望を伺いながら、子どもたち一人一人が関わり楽しめる内容に創り上げていきます。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	なし
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 太鼓と芝居のたまっ子座 】

本事業に対する
取り組み姿勢、および
効果的かつ円滑に実施
するための工夫

<p>①本事業に対する取り組み姿勢 私たち太鼓と芝居のたまっ子座は、これまでの公演の経験や頂いた感想から、人間の溢れるエネルギーや全身を揺さぶる音色、登場人物たちの個性豊かな生き様に触れる、舞台との出会いが、子どもたちにとって日常生活では得難い体験として残っていくことを強く実感しています。教育の中で多機能端末の活用やAIとの向き合い方が重要な課題となっていく時代であればこそ、子どもたちに直接向き合い、心を震わせて人間らしい感性の土台を築く『生の体験』としての舞台は、子どもたちの成長に欠くことができないものと考えています。</p> <p>本事業が、義務教育の現場にその出会いを作り、地域や生活環境、文化環境の差異を超え、日本の全ての子どもたちに舞台を届けるという点で大変意義深く、大きな役割と責任を担っていると感じます。また、本公演前のワークショップの実施は、専門性と具体性を活かした取り組みを通して、子どもたちが観る・聴くだけでなく、自ら表現し作品を創り上げていく楽しさを体験し、表現への意欲を膨らませ、自分の思いや考えを発信していく力、他者とコミュニケーションし協働する力を身につけ、自由に創造的な心と体を育てていく場として、期待し、私たち自身も創造性を発揮して臨みたいと思います。</p> <p>たまっ子座は、自然と人間の共存、持続可能な社会の在りようが問われている現代の表現者として、創立以来、伝統の和太鼓や篠笛の持つ響きの美しさ、力強さ、農耕民族の願いや喜びの思いを土台に作品を創造し、上演活動を続けています。ヨーロッパや北米、アジア等海外の公演の経験は、国際社会の中で自国の文化・伝統に根差した創造的な表現を交流し合い、互いの理解を深めることの重要性を痛感するものとなり、日本の子どもたちが広く芸術文化に親しみ、命の素晴らしさや大切さを感じ、考え、世界へ発信する存在に育っていくことを心から願って、本事業に力を尽くしたいと思います。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 私たちは本事業において、学校内の体育館を日常とは違う「生の体験」の場、「劇場」という芸術空間に変え、質の高い公演を児童・生徒一人ひとりの心に届けることを念頭に置き、その実現の為に実施校の担当をしてくださる先生方と丁寧な連携ができるよう、情報の発信、共有に努めたいと考えています。 実務的なご連絡や打ち合わせは、事前にお送りするたまっ子座作成の資料をご覧いただきながら、お電話、及び書面(FAXもしくはメール)でのやり取り、という形を基本としています。</p> <p>◆事前打ち合わせとして 公演やワークショップの内容に関しては、太鼓という楽器の個性や魅力、教育現場で果たし得る役割、たまっ子座の舞台の特色等を、写真・動画を含めた資料としてお伝えし、より立体的にイメージを共有していただければと考えています。 ワorkshopに関しては、学校や地域毎の特色、子どもたちの様子などをお聞きし、参加する児童・生徒の人数や学年の選定、他行事の実施時期等との関連、時程の設定等など、個別にご説明・ご相談させていただきます。</p> <p>◆学校現場でのご対応 ワorkshop・公演共に、当日の仕込み・準備・実施・撤収までの一連の内容と必要となる作業に関しましては、団体のメンバーで動きます。 先生方には、事前打ち合わせと当日現場での最終打ち合わせ、会の開始前後のご挨拶や司会進行、児童・生徒の皆さんへの対応、並びに、この事業の成果をより高め広める意味で、保護者や地域の方に向けての周知・ご案内をお願いしています。(ご案内資料の原案は団体で用意。)</p> <p>◆ワークショップ実施後は、ワークショップの振り返り、及び、公演当日の会場設定、進行を中心に、そのまま現地でご担当の先生と対面での打ち合わせをお願いしています。ワークショップに関しては、たまっ子座の講師たちの指導の様子をビデオで撮影し、学校内で活用していただいたり、本公演で共演する曲目の練習用動画のURLをお知らせしています。</p> <p>◆子どもたちへの思いの共有 文化庁主催事業の貴重な機会として、生の舞台ならではのインパクトを活かした子どもたち本位のワクワク感を大切に、学校全体で期待を膨らませて迎えていただき、先生方にも積極的なご参加を願えたらと思います。また、ワークショップ後や本公演鑑賞後に、体験を「手紙」「絵画」や「短歌」の形で自己表現の継続的な学びに繋げて、ご報告いただくことも度々あり、子どもたちの学校生活の流れの中で思いを共有させていただいたことが大変嬉しく有難く、一過性に終わらない芸術体験の発展的な効果を感じています。</p>

別添 ※別添は1企画につき3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先 No.3 【公演団体名 太鼓と芝居のたまっ子座】

ワークショップ「風とカミナリ」

参加者全員で太鼓を体験、リズムを覚えていきます



リズムを覚えた後、それぞれ希望する役に分かれて練習をします
(演奏を伴うカミナリの役と、舞踊的表現が中心の風の役に分かれます)



ワークショップ
実施形態及び内容



約90分のワークショップの中で共演シーン「風とカミナリ」が形になっていきます。
その後、公演当日までは動画資料などを元に復習をしていただき、公演前の45分間最終リハーサルを経て共演に臨んでいただきます。

